



第7回 こあじろの森くらぶ総会

開催日 :2022年8月28日(日) 13:30~14:00

会場 :新型コロナウイルス感染の影響を勘案し、リモート開催

開会のご挨拶

会員の皆さま スタッフの皆さま お変わりなくお健やかに過ごしの事とお喜び申し上げます。一昨年来の新型コロナウイルスの再々大感染が全国各地へ広がる中、私たちのこあじろの森くらぶの第7回総会を迎える事となりました。参加者が一同に会することもなくリモート開催とはいえ、これも会員スタッフ皆さま方のご協力ご支援のお蔭と感謝しております。

昨年度の活動の中から幾つか主だったものを選んでみますと、2021年12月4日(土)第28回交流会では、こあじろの森を歩いた後に、三戸の光照寺のご住職からお話を聞く会がありました。後に「光照寺のご住職のお話を聴く会」という小冊子を発刊して皆さまへお配りしました。

次いで2022年4月2日(土)スタッフ研修としては、横須賀市光の丘水辺公園へニリンソウを見に出かけました。私は、北アルプスの上高地で大群落を見ておりますが、このような平地で見られるのは実に珍しいものでした。

通信No.32号では、こあじろの森中で撮影された、ノウサギの写真が紹介されております。昔、こあじろの森へ入るには、藪やヌカルミが多く長靴を履かないと森中は歩けません。この時代、森はまだ狩猟が出来ましてイヌを連れたハンターを見ております。そして空の薬莖を幾つか拾っています。遊歩道等開発が進んだ森の新時代に、絶滅したと思われた森中にはまだノウサギが健在とは実に驚きでした。

会員のみなさま、スタッフのみなさま、ご協力ご支援によりまして、今年も総会を迎えることができました。ご多用中のところ、ご参加頂きまして本当にありがとうございます。どうぞ、こあじろの森くらぶの行事へ参加して、くらぶ活動をご一緒に楽しまれることをお誘い致します。

祖父川精治(代読 松原あかね)

総会概要

令和4年(2022)8月28日(日)

「こあじろの森くらぶ」第7回の総会が開催されました。出席者10名に、委任状38件を加えて、総会の資格確認がされ、議事に入りました。

コロナウイルスの影響による制限は解除されたものの、直前に変更される恐れがあったため、リモート開催といたしました。議長に加藤利彦氏が選出され、熟練の進行のもと議事は速やかに審議され、第1号から第6号まで全ての議案が全員一致で承認されました。

お忙しい中、委任状の提出にご協力くださった皆さま、ご参加くださった皆さまに深く御礼申し上げます。

橋みちよ

第7回こあじろの森くらぶ総会 議案書

第1号議案 こあじろの森くらぶ2021年度活動報告

- 2021.07.04 (日) スタッフ会議 (リモート)
- 2021.07.18 (日) スタッフ会議 (リモート)
- 2021.07.25 (日) 通信 No.27 印刷 (横須賀市立 市民活動サポートセンター)
- 2021.08.22 (日) スタッフ会議 (リモート)
- 2021.08.29 (金) 第6回こあじろの森くらぶ総会 (リモート)
スタッフ会議 (リモート)
- 2021.09.12 (日) スタッフ会議 (リモート)
- 2021.09.27 (月) 通信 No.28 印刷 (横須賀市立 市民活動サポートセンター)
- 2021.10.03 (日) スタッフ会議 (リモート)
- 2021.10.17 (日) スタッフ会議 (リモート)
- 2021.10.24 (日) 第27回交流会「リモートでカレンダー作り」 同日夜 スタッフ会議 (リモート)
- 2021.11.01 (月) スタッフ会議 (リモート)
- 2021.11.14 (日) 通信 No.29 印刷 (横須賀市立市民活動サポートセンター)
- 2021.11.30 (火) スタッフ会議 (リモート)
- 2021.12.04 (土) 第28回交流会小網代の森歩き～光照寺、ご住職のお話を伺う会
縁の会、三浦海岸伊豆島。
- 2021.12.05 (日) スタッフ会議 (リモート)
- 2021.12.26 (日) スタッフ会議 (リモート)
- 2022.01.03 (月) 第29回交流会開催のお知らせ (ハガキ) 発送
- 2022.01.09 (日) スタッフ会議 (リモート)
- 2022.01.16 (日) 第29回交流会下見。スタッフ会議 (於ニナイテ)。
第28回交流会冊子編集会議 (リモート)
- 2022.01.20 (日) 第29回交流会延期のお知らせ (ハガキ) 発送
- 2022.01.23 (日)・29 (土) 編集会議 (リモート)
- 2022.02.05 (土)・12 (土)・20 (日)・26 (土) 編集会議 (リモート)
- 2022.02.13 (日) のたろんフェア 2022に参加、2021年の活動紹介動画をライブ配信(ホームページ会
員専用ページに YouTube 活動紹介動画 (限定公開) へのリンクを掲載)
- 2022.03.05 (土) スタッフ会議 (リモート)
- 2022.03.13 (日) 第29回交流会 鳥いっばいの谷と海 2022 コロナまん防措置期間のため中止
- 2022.03.20 (日) 通信 No.30 印刷 (横須賀市立 市民活動サポートセンター)
- 2022.03.26 (土) 編集会議 (リモート)
- 2022.04.02 (土) スタッフ研修 光の丘水辺公園・かろうと山古墳探検 編集会議 (リモート)
- 2022.04.10 (日) スタッフ研修 海岸歩き 編集会議 (リモート)
- 2022.04.16 (土) 編集会議 (リモート)
- 2022.04.23 (土) 第30回交流会下見 編集会議 (リモート)

- 2022.04.24 (日) 第30回交流会下見 スタッフ会議 (リモート)
- 2022.04.29 (金) 第30回交流会・午後スタッフ会議 (於 ニナイテ会議室)
スタッフ会議・編集会議 (リモート)
- 2022.05.07 (土) 編集会議 (リモート)
- 2022.05.09 (月) 第31回交流会お知らせハガキ発送
- 2022.05.18 (水) 編集会議 (リモート)
- 2022.05.22 (日) 第28回交流会冊子「光照寺ご住職のお話を聴く会」、印刷・製本
(横須賀市立 市民活動サポートセンター)
- 2022.05.28 (土) 第31回交流会下見
- 2022.05.29 (日) 通信 No.31 印刷 (横須賀市立 市民活動サポートセンター)
- 2022.06.03 (金) 紙芝居作成
- 2022.06.04 (土) 第31回交流会「ホテルを見に行こう! 2022」
- 2022.06.05 (日) ホテル紙芝居コピー及びラミネート加工
スタッフ会議 (リモート)

第2号議案 2021年度決算

収入の部

支出の部

科目	2021年度予算額 (円)	2021年度決算額 (円)	増減 (円)	科目	2021年度予算額 (円)	2021年度決算額 (円)	増減 (円)
前期繰越金	848,558	848,558	0	通信費	20,000	43,474	▲23,474
会費	75,000	80,000	▲5,000	交通費	30,000	1,000	29,000
寄付金	200,000	260,070	▲60,070	事務消耗品費	20,000	21,880	▲1,880
				会議費	50,000	75,827	▲25,827
				広報費	60,000	83,406	▲23,406
				諸手当	140,000	110,000	30,000
				次期繰越金	803,558	853,041	▲49,483
計	1,123,558	1,188,628	▲65,070		1,123,558	1,188,628	▲65,070

繰越金内訳

ゆうちょ銀行当座預金	607,557円
現金	245,484円
合計	853,041円

上記の通り相違ありません
2022年7月13日 会計 宮本 美織 印

上記の通り相違ありません
2022年7月13日 会計監査 竹内晶子 印

第3号議案 活動計画

会則「小網代の森を楽しむことを通じて、会員の交流をはかる」にそって活動する。

- 交流会 5から6回
- 通信発行 5から6回
- 会員に提案して、小網代の森以外での活動を行う（遠足） 随時
- スタッフ研修 随時

これからの予定（案）

- 2022年10月 第32回交流会
カレンダー写真選びの会（リモート）
- 2022年12月 第33回交流会（予定日程12/3・土 終了後希望者は縁の会に出席）
- 2023年 2月 第34回交流会「鳥いっばいの谷と海2023！」
- 2023年3月～4月 遠足 ニリンソウ（光の丘水辺公園）
- 2023年4月29日 第35回交流会
交流会終了後「加藤さん・石塚さんの写真とトークを楽しむ会」
- 2023年5～6月 第36回交流会ホテル（県指定の森開放期間に合わせて実施）

※会員の皆様からのアンケート・ご意見を参考に今年度も企画していきます。

※新型コロナの影響で大幅に計画が変更になる可能性があります。ご了承ください。

第4号議案 2022年度予算

収入の部				支出の部			
科目	2021年度決算額	2022年度予算額	差異	科目	2021年度決算額	2022年度予算額	差異
前期繰越金	848,558	853,041	▲ 4,483	通信費	43,474	40,000	3,474
会費収入	80,000	75,000	5,000	交通費	1,000	10,000	▲ 9,000
寄付金収入	260,070	200,000	60,070	事務消耗費	21,880	20,000	1,880
				会議費	75,827	70,000	5,827
				広報費	83,406	60,000	23,406
				諸手当	110,000	140,000	▲ 30,000
				次期繰越金	853,041	788,041	65,000
計	1,188,628	1,128,041	60,587		1,188,628	1,128,041	60,587

第5号議案 運営体制 ※ 代表をおかず、スタッフ会議の多数決により運営する。

スタッフ：菅野哲夫 木皿直規 倉内ちひろ 鈴木カヲル 須藤伸三 祖父川精治 高橋伸和 中井由実 仲澤イネ子
浪本晴美 橋美千代 別府史朗 松原あかね 三本保子 宮本美織 山本述子（五十音順）

会計監査：竹内晶子

第6号議案 その他

閉会のご挨拶

こあじろの森くらぶオンライン総会も違和感なく終了できました。いつまで続くぬかるみぞの思いで辛抱しながらのみなさまのご協力ありがとうございます。仲間の頭の中には総会で行いたいいろいろなイベントがあったはずですが、それら諸々の思いはコロナ禍が収束した後の楽しみとして積み重ねておきましょう。

一方では報告にもありましたように終了年度の活動はなかなか活発で、各種報告の出版などが充実していて目を見張りました。小網代の森やその周辺の歴史上の事実を知ろうと変形菌がどん欲に徘徊して栄養を吸収し最後に子実体を作り上げるがごときイメージがぴったりではないですか。思えば森の仲間のつながりは変形菌が憑依したのではないかとすなおに納得してしまえるところが恐ろしくも面白いところです。

新年度はどのような活動を見せることができますか、いろいろな制限をものともせずに行動するところは最強の生き物をほうふつとさせます。ウイルスも顔負けの新たな活動に期待して閉会のご挨拶と致します。

高橋伸和（代読 橋みちよ）



●●● 会員の皆様からコメントをいただきました ●●●

小網代の森の道路の階段は手すりをつけてください。3段4段でも老人には危険です。お願いします。2ヶ所程です。
(M.S)

いつも興味深い企画をなされていますね。なかなか日程があわず参加できず、残念です。こあじろの森通信を楽しみに読んでおります。
(M.K)

役員の皆様ご苦労様です。今年 6/23 の株主総会をもって三浦地域資源ユーズ株式会社の役員を退任し、完全年金生活に入りましたが、三崎下町環境美化の会とよろず相談ボランティアに相変わらず多忙な日々を送っています。
(S.Y)

暑い日が続いています。ご自愛ください。
2部の紙芝居見たいです。
(S.T)

いつも通信をたのしく見てます。
【S】

いつもお世話になっております。
今後よろしくお願ひ申し上げます。(M.M)

毎度の欠席で申し訳ありません。酷暑の折、皆様の御健康をお祈り申し上げます。(Y.O)

くらぶ通信でいつも素敵なレポートを読ませて頂き有難うございます。気持ちだけ参加しています。(K.E)

いつもありがとうございます。
これからもよろしくお願ひします。(S.B)

とても真面目な会なのですね。皆様の一生懸命な様子を深く感謝して居ります。来年も宜しくお願ひ致します。(A.E)

通信 No.32 の「ホテルを見に行こう 2022」行かなかったの、ただ いいなあ～
マスクをはずしてのんびりワイワイ小網代の森を歩きたいです。(A.K)

楽しく参加させて頂きありがとうございます。縁の会、毎年楽しみにしています。(M.S)

小網代に暮らす人々の記憶証言、土地にまつわる史実、ふたつの冊子刊行は、ご苦労さまでした。そしてありがとうございます。(K.S)

森へなかなか出かけることができない日々ですがまた、訪れる日を楽しみにしています。(K.O)

交流会へは 20 年以上前、娘と 2 人で参加したのみ。こあじろへと足を運んだのも数回、となさけない会員ですが、今後もよろしくお願ひいたします。(S.O)

はじめて、谷へおりた時、足首まで土に埋まった記憶、忘れません(20 年以上前)そのまま自転車で汐入までもどったこと。(K.M)

当日は仕事(高校入試模試の実施)のためオンラインでの参加もできません。(T.K)

通信を読ませていただき、来年こそは、小網代のホテルを見に行くぞ! と思ひました。その前に初秋の交流会もありますね。コロナ、早くおさまりますように... (K.S)

こあじろの森を守って下さって、心から感謝申し上げます。夫を見送りまして、力が抜けたのでしょうか、コロナでしょうか。外出が面倒になってしまいました。こあじろ通信は、とても楽しみにしています。(T.T)

通信いつもありがとうございます。久しぶりにいった今年の 4/29 の小網代。息子がとても気にいったようで、秋の散策も参加したいと思つてます。(K.K)

お便りありがとうございました。今後共、よろしくお願ひ申し上げます。皆様の御健康をお祈りいたします。(R.R)

ほとんど小網代に行く機会もつくれておりませんが、「くらぶ通信」、毎回楽しく拝見しております。(K.I)

通信を有難うございます。写真、文を読んで現地に行つた気分になります。酷暑見舞ひ申し上げます。(N.O)

交流会、遠足など、なかなか参加できなくて、とても残念です。こあじろの森通信を楽しみにしています。(N.O)

ホテルの交流会、楽しそうでしたね! 私が若かったら(81 歳です)行つてみたかったです。(K.N)

Thanks so much for your years of hard work and dication on behalf of the crabs and all of nature. (C.B)

いつも内容豊かな会報をありがとうございます。早くコロナがおさまり、いろいろと活動できる様、祈つています。(A.S)

よろしくお願ひします (Y.F)

ご質問をいただきましたので、スタッフから回答させていただきました

Q1. 議案 2 号の諸手当とは誰に何のための手当をする費用なのですか?

回答: 講師謝礼、会場使用の謝礼 等

Q2. 同上広報費とはわがくらぶをどこへどう PR する費用なのですか?

回答: 主に会員と地域の方を対象に印刷物、映像素材等による PR

Q3. A4 大の紙を折る場合 3 つ折り(くらぶ通信 No.32 のように)ですが、議案書は 4 つ折りでした。今後 3 つ折りにして下さい。3 つ折りでも封筒に入りますので

回答: 実際に作業される方の判断にお任せしていますので、ご希望に添いかねる場合もございます。あしからず、ご了承ください。

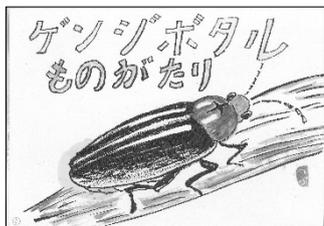
第二部 紙芝居「ゲンジボタルものがたり」

ちょっとだけオフライン公開

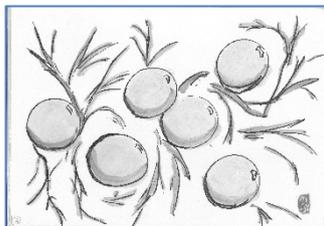
第7回総会の第二部でホタルの紙芝居、「ゲンジボタルものがたり」を上演しました。

ホタルは日本の昔から人々に親しまれてきた昆虫です。例えば、平安時代、清少納言の枕草子の「夏」や紫式部の源氏物語 25 帖に蛍が登場しています。安土桃山時代の豊臣秀吉は「三の間の水は甘いかな飛ぶ蛍」、江戸時代の松尾芭蕉は「昼見れば首筋赤き蛍かな」と詠んでいます。

昔から歌われてきたわらべうたの「ほ、ほ、蛍こい、あっちの水はにがいぞ、こっちの水はあまいぞ、ほ、ほ、蛍こい」は今も歌い継がれています。



こんばんは
僕はゲンジボタルです。実際の姿はこんなもの。拡大したらこんな姿をしています。今日は僕



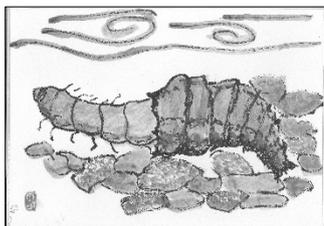
一年前はこんな卵だったんだ。たらこの一粒くらいの大きさ。小川の苔の上で一ヶ月、育ってきたんだ。そろそろようかな。



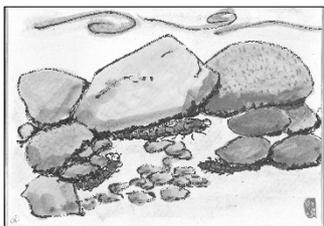
最初はこんな小さな(1.5 ミリの)幼虫だったよ。大急ぎで水中に飛び込むんだ。



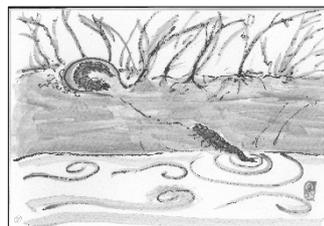
きれいな流れの中で、えさ取りだ。カワニナを溶かして食べるんだ。チュウチュウ吸って食べるんだよ。



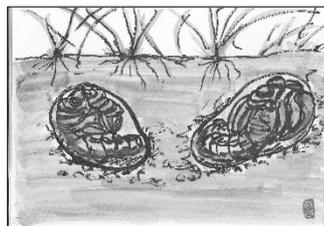
お腹が一杯。育ってきたよ。ええい、そとがわを脱いじゃえ。脱皮して大きくなる(30 ミリ)んだ。蛹になるまで6回も脱皮す



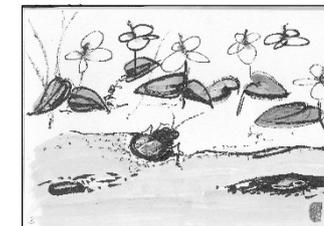
もりもり食べて冬になる。じっと水の底で春を待つさ。早く春になあれ。



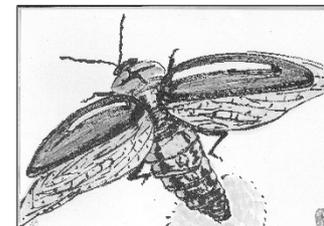
春のサクラが咲くときがきたよ。体がうずうず！ムズムズ。雨がふったら 上陸だ！この日を待っていたんだ。水の暮らして「さよなら」だ。光りながら仲間と陸を目指してやわらかい土の中にもぐるんだ。



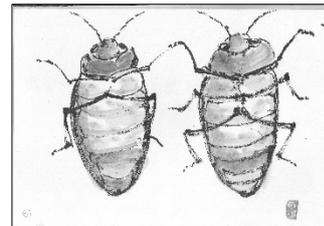
水辺のやわらかい土の中が新しいすみかだよ。土でつくった「つちまゆ」になるんだ。その中で体を大きく変えるよ。「蛹」になるよ。これで50日か



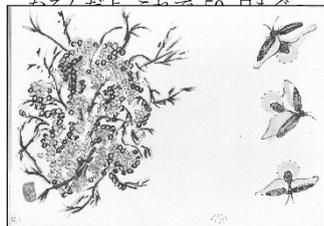
サクラはすっかり葉桜になって、ドクダミの花が咲き出した。そろそろ 変身した姿を見せようかな！



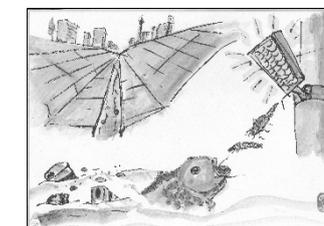
さあ、空を飛ぶぞ！ 僕は何で光るんだか みんな分かるかな？ そう、光でお喋りしてお嫁さんを探すんだ。飛びながら四秒光るんだ。時には仲間と一斉に点滅して飛んで、メスに僕はここだよ！と知らせるんだ。そしたら、草の上で待っているお嫁さんから「こんばんは！」って光で合図があるんだ。そして結婚するんだ。



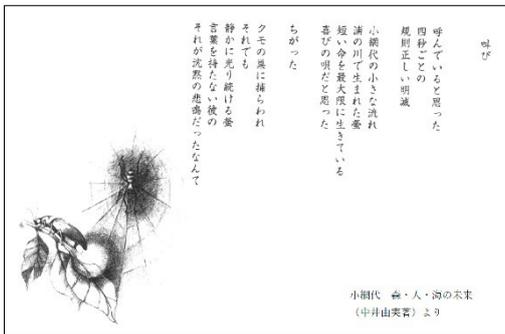
ここでクイズだ。おしりが2節光るのがオス、メスのどちらでしょう？ たくさん光ってメスを呼びたいのはどっちかな？
答えはオスです。



メスは水の中の苔の上に卵を産むんだ。産む卵の数は500から1,000コ。僕もお嫁さんも大人になってから水だけ飲んで1週間過ぎると死んでしまうんだ。

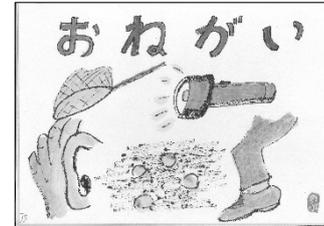


大人になるまでに 水のなかでトンボのヤゴに食べられたり 魚に食べられたりする。汚い水の中では生きられない。蛹になりたいけど、コンクリートの壁ではできないね。大人になっても電灯の光が多ければ、メスにも気がついて貰えない。こんなこともあるよ。



螢
呼んでいると思つた
四秒ごとの
規則正しい明滅
小瀬代の小さな流れ
流の川で生まれた蛍
短い命を運命に生きて
喜びの唄だと思つた
らがった
クモの巣に捕らわれ
それとも
静かに光り続ける
言葉を待たない彼の
それが光の地獄だったなんて

小瀬代 森・人・酒の未来
(中川由美著)より



ぼくからのお願い
・つれていけないでね。ここでしか生きられないよ。
・ライトはつけないでね。光の信号が狂っちゃうよ。
・道からはずれないで。土の中にまだ、蛹がいるかも
・静かにみてね。虫の声も聴けるよ。
・だんだん空が暗くなるの楽しみよう。

※ この紙芝居は横浜自然観察の森の紙芝居や大場信義さんの研究を元に作りました。

小網代を詩う

蛍の紙芝居

中井由実

夏の夜の夢

闇にまたたく蛍

その不思議を開く 紙芝居

息を呑む美しい光を放つ成虫は

実は暗い土繭から這い出してきたばかり

それまでは

藪下の水の中の暗がりです

カワニナの狩りをしていた

今 数日間の煌きで水辺を飾る

谷の春夏秋冬を生き抜いてきた蛍

儚いけれど強い舞いを

忘れられない夏として思い出すだろう



ミズヒキ

中井由実

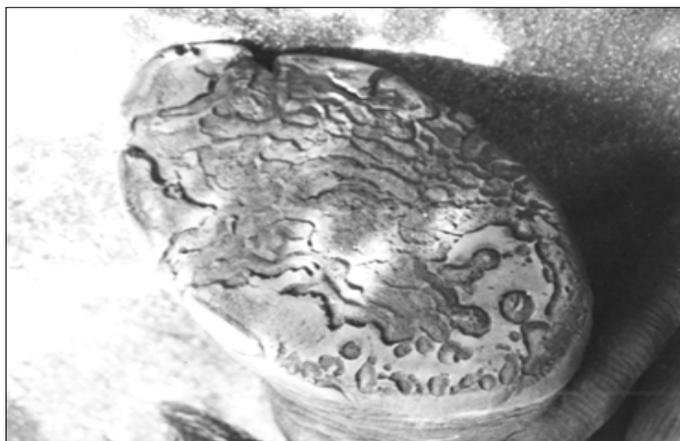
ごく小さな花なのに
人の目を引き付ける鮮やかさといつたら、
くすんできた緑の茂みに引かれた秋の赤

サロン小網代 長崎から江戸へ象が行く

2022.09.06 祖父川精治

享保13年(1728)6月7日、清国の商人により交趾(こうち)国「現在のベトナム」から、雌雄2頭のゾウが長崎へ到着した。徳川8代将軍吉宗へ献上するためである。将軍が珍獣ゾウをぜひ見たいというので中国人に移入を依頼したものという。吉宗はゾウを武器や武具として用いたかったといわれる。

依頼してから2年後ようやくベトナムから長崎へゾウが到着、しばらくは唐人屋敷で飼育されていたがメス5歳は病死してしまう。残されたオス7歳は約8ヶ月間長崎で滞在飼育して、我が国の気候風土に慣らしたといわれる。翌年3月13日、吉宗は江戸まで全1300キロを徒歩で移動することを命じた。当時の造船技術では、ゾウを搭載して江戸まで回送するような大船は建造できなかったのである。



象の足裏

ウマやラクダと違ってゾウの足裏は扁平で、近い距離の力仕事には向いているが超長距離の歩行にはかなりの負担になっていたと思う。

道中の諸藩は、領内を無事に通過するよう宿泊や食べ物の用意等責任は重大である。そして、警護として役人20余名とゾウ使い2名と通訳に伴われて出立する。実に哀れで悲しいゾウである。

記録によると、長崎から小倉へ長崎街道、山陽道を歩き大阪京都、中山道を名古屋へ。東海道箱根越えをしてようやく江戸へ到着した。延74日間、沿道の住民達は驚きの連続であったと思われる。約3トンの巨体

のゾウは蔽うこともなく、1日平均3~5里(12キロから20キロ)を自らの足で歩いて行った。万一事故でも起こしたら責任重大、警護の人たちの苦労もおもいやられた。

京都へ4月26日着。宮中では第114代中御門天皇と霊元上皇がご上覧、実に洛中は大変な騒ぎであったと伝えられる。この時の様子を描いた、緒方探香筆の「象之絵巻物」が現存する。

浜名湖に架かる小橋は渡れないので、東海道を大きく迂回して浜名湖の北側を通過。急な本坂峠の登りではゾウが悲鳴をあげるような負担となったという。また、箱根越えも大変な難儀であったと伝わる。

江戸へ到着するまでに、幕府からは街道には縄を張れ、道を清めよ、寺の鐘は鳴らすな、イヌやネコを繋ぐ等、ゾウが驚かないよう怪我をしないようにと幾つものお触れが出された。将軍よりも、住み暮らす江戸町民の好奇心は次第に高まったものと思われる。江戸市中を練り歩き、のち浜御殿(現浜離宮)へ収容された。後日改めて、江戸城内で将軍吉宗、他諸大名多数とともに大広間で見物したといわれる。

ゾウは有名な鳥獣人物戯画にも描かれ、また「和名抄、935年」、「徒然草、1331年」にもゾウの記述



インド ジャイプール市内

がある。平安時代木造の普賢菩薩はゾウに跨っている。俵屋宗達筆、襖絵の白象図は有名。江戸時代以前から昔の人々はゾウの存在を知っていたと思われる。身近な例では、お寺や神社の欄間や本柱等へ想像上の動物として極色彩のゾウが刻まれていることがある。

江戸城下で飼育されていたが大食いで食費が高み、やがて中野村の富豪農家の源助へ預けられた。ゾウ小屋を建てて飼育、大勢の人達が見物に押し寄せたと伝えられる。フンを「象洞」と名付けて丸薬としたが売れ行き不振。その後、江戸名勝図絵に記載され現東京都中野区にある名刹の真言宗豊山派明王山宝仙寺へ葬られた。時に、寛保2年「1742」12月。惜しくも、その墓は先の大戦中に焼失してしまった。現在は、ゾウ小屋の跡地へ東京都中野区が建てた標識看板がある。

現在、ゾウは我が国の31施設に75頭が飼育、最大飼育施設は千葉県市原市にある「市原ゾウの国」の12頭である。2021年5月17日付の新聞報道によると、同園のゾウ2頭いずれも35歳が原因不明で急死したとある。

今日の小網代

2022年9月11日(日)

教室の生徒及びご家族を連れて小網代の森に干潟の生き物観察に行きました。当初は3家族12名程度が参加される予定で、私1人では十分な案内ができそうにありませんでした。そこで、私が所属している「こあじろの森くらぶ」の皆様にも案内のお願いをしました。

ところが、当日はコロナ陽性による学級閉鎖で自宅待機になるなど2家族が参加できなくなり、1家族に5名の案内がつく至れり尽くせりの会になりました。おかげで参加者は思い思いのペースで森を楽しむことができました。

最後に参加した生徒の感想をお伝えします。

I・T君 (小4)

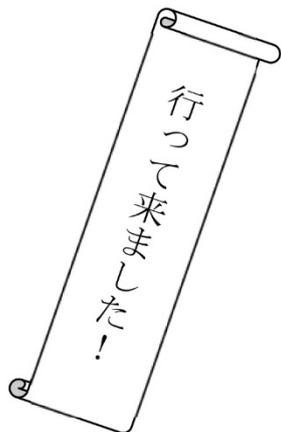
いろんなカニが見られて楽しかったです。タイワンガザミを見つけられてうれしかった。

A・Tさん (中3)

もともと磯にいる生物達が大好きなので、近くで見たり触れたりできてとても楽しかったです。潮の満ち引きも目に見えてわかって驚きました。森の中も見ることがない植物が沢山あって、こあじろの森くらぶの方の説明もあってとても勉強になりました。



記：T.K 写真：H.N



茨城県自然博物館

イベント「変形菌のふしぎな一生」

2022年8月27日(土)

以前小網代で変形菌の観察会をしてくださった宮本卓也先生が講師と聞き、すっかり変形菌ファンになった女性4名、片道3時間越えもなんのその(三浦在住の方は6時に家を出たとか)、茨城県自然博物館(茨城県坂東市)にかけつけました。

私たちと変形菌の出会いはスタッフ研修として、2018年に茨城県自然博物館で開催された企画展「変形菌展」を観に行っただけで、あまりにも面白かったので、ダメ元で博物館に観察会の講師派遣をお願いしたところ、企画展を担当されていた学芸主事の宮本先生が講師として、はるばる小網代まで来てくださったのでした。(こあじろの森くらぶ通信 No.12 2018年6月24日発行にスタッフ研修の報告、No.14 2018年11月25日発行に交流会の報告を掲載していますのでご覧ください。) まったく奇跡のような出会いでした。

午前中は映像ホールで、第62回科学技術映像祭で部門優秀賞を受賞した作品「変形菌のふしぎな一生」の上映です。上映の前後には制作の裏話。まず上映前に、宮本先生が企画展で変形菌をテーマにするまでの物語を熱く面白く語ってくださいました。茨城県は小中学校の先生が博物館の学芸員になるという人事交流があるそうで、宮本先生も7年間の博物館勤務のあと、現在は市立小学校の先生に戻られています。博物館に異動されてから何年か経ち、そろそろ企画展をやらないかと言われて、テーマに悩んでいたそうですが、それから「変形菌展」を成功させるまで、人(恩師や上司、同僚)との出会い、何気ない一言があって、進むべく方向が決まったそうです。出会って大切だなあ、と自分の体験と重ね合わせながらお話を伺いました。

そして上映後、科学映像ディレクターでNHK「ダーウィンが来た!」や「ワイルドライフ」でも撮影をしている、株式会社ドキュメンタリーチャンネルの藤原英史氏から、映像制作の裏話を伺いました。生き物の一生(生活環)を映像で捉えるよう、ドローンやスライダー、タイムラプス(早送り)、顕微鏡撮影などの映像技術を駆使。特に変形菌の場合は、変形菌がうまく演技(?)してくれるよう、乾燥しないように気をつかい、特殊な装置を考案したりしたそうです。どうしたらうまく子実体になってくれるか調べるうちに、子実体の誘導には日光が必要だという数十年前のアメリカの論文に辿り着いたり、べん毛が1本か2本か調べてみると昭和初期の日本の論文に記載があったりしたそうです。変形菌はまだまだ研究の可能性が広がる、「奥深い世界」とのお話、納得しました。

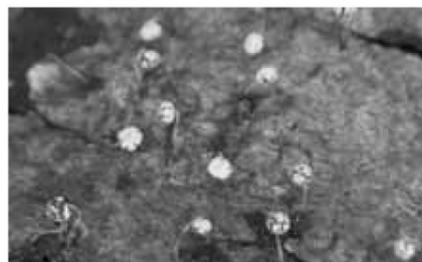
さて、その映像はというと、最初の変形体のうごめくタイトルバックからわくわく感満載。いろいろな変形菌が変形体から子実体になる様子がタイムラプス映像で、孢子から発芽してアメーバ状細胞になり、べん毛細胞がくるくる泳ぐ様子が微分干渉(DIC)という技術をつかった顕微鏡撮影で、思わず「おお〜、すごい!」と声をあげてしまうほどです。映像のDVDは株式会社ドキュメンタリーチャンネルで販売もしています(定価3,480円税込)。こあじろの森くらぶでも、いつか鑑賞会をしましょう!

午後は屋外で観察会でした。正式名称を「ミュージアムパーク茨城県自然博物館」と言いますが、その名のとおり、建物の外に広大な緑の公園が広がっています。自然状態が保たれ、多くの変形菌たちがのびのびと暮らしています。観察会の様子については次頁以降、一緒に参加したみなさんにバトンタッチします。

最後に、準備や片付けをしてくださったスタッフのみなさんやサポートしてくださった日本変形菌研究会のみなさん、なんといっても宮本先生、ありがとうございました。

またぜひロングバージョンの観察会を開いていただけたら嬉しいです。

浪本晴美



参加者それぞれレポートを書きました。重複しているところもありますが、感動をそのままお伝えします。

映像上映会「変形菌のふしぎな一生」と制作の裏話

2018年9月に変形菌の宮本先生の講義「変形菌を探そう」に参加し、面白い生き物だなと思いました。宮本先生の所属する茨城県自然博物館で、映像上映と森の中で変形菌をさがすイベントがあると聞き参加してきました。

三崎口～品川～秋葉原～守谷と電車を乗り継ぎバスに乗り換え博物館まで、久しぶりの遠出でした。回りには沼や森が広がり自然がいっぱいの所でした。上映会前に朝（昼）ご飯を食べ3階のホールへ。廊下には変形菌の標本や本が並べてありましたが、標本は虫眼鏡がないと老眼の私は見えない！

まず、宮本先生のお話から。博物館の学芸主事をしているときに、自分でテーマを決めて展示をしなければならず、何にしようかと悩んだ時、学生時代に研究したことのある変形菌を勧められた。マイナーだし、小さい生き物（mmの世界）なので展示方法が難しい。8分間の映像を作り展示会場で流した。その映像が元になり「変形菌のふしぎな一生」が出来たと、制作の裏話を話してくれました。

次に「変形菌の不思議な一生」の上映。画面いっぱい脈打つ血管のように体液が行ったり来たりしながら流れ、広がって動く変形体、ワサワサという音がするような子実体への変化。胞子が発芽し、透明な丸いつぶつぶ（アメーバー状細胞）がバクテリアを食べ分裂し、尻尾が生え、くっつき合っただけで変形体に変わる成長の様子。時間を縮め何倍にも大きくして映すとますます不思議な生き物。（DVDもありますよ！）

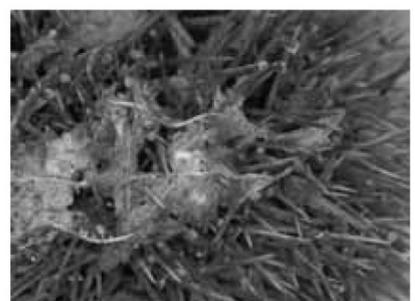
最後に制作した藤原さんのお話です。ディレクターとカメラを担当したが、変形菌は小さいので機材から違う。撮影だけでなくストーリーも作りたかった。屋外での撮影で早送りをすると太陽が動く陰が映るので、室内で森を再現するようにして撮った。胞子から発芽したアメーバー状細胞は透明なので後ろから陰をつけて撮影した。変形体から子実体への変化を撮影するのに苦労した。食べ物を減らしても子実体にならず、だめだと思って捨てたら変化していた。年末、あきらめて遮光カーテンを開けたら変化し始め、子実体になるためには光も必要なことがわかった。などなど裏話をたっぷり聞かせていただきました。藤原さんは普段講演はしないと書いていましたが、お話も上手でした。昆虫や植物などの自然番組を見るのが好きですが、こんな風にカメラマンは苦労して撮っているんだなと目から鱗でした。

午後から敷地内で変形菌の観察会。先生役を先頭にグループに分かれ、林の中に置いてある丸太をひっくり返し虫眼鏡で探しますが、暗いし、視力は悪いし、根気は無いし見つかりません。誰かが見つけると先生が説明するので、そこへ行って見せてもらいました。一本の枯れ木に何種類もの変形菌がついていて、変形菌のマンション？でした。いくつか標本を取って冷房の効いたセミナーハウスへ行き、顕微鏡で観察。ピントを合わせてもらおうと、きれいに子実体がみえました。後ろの席の親子連れの標本を見せてもらいました。肉眼では分厚いキノコの菌糸のようでしたが、顕微鏡では真っ白いカリフラワーのようなツノホコリでした。（初めまして・・・だと思う）

変形菌は結構身近にいるそうです。懐中電灯と虫眼鏡を持って近くの森へ探しに行こう。虫除けもつけて行かなくては！

AK

会場に展示してあった変形菌標本の一部



小網代の森NEWS

●●● スタッフの活動 ●●●

2022.07.31 (日) 通信 No.32 印刷 10:00~ (横須賀市立 市民活動サポートセンター)

2022.08.07 (日) 森の歴史をもっと知る会

2022.08.20 (金) 森の歴史をもっと知る会編集会議 (リモート)

2022.08.27 (土) スタッフ研修「変形菌」 茨城県自然博物館

2022.08.28 (日) こあじろの森くらぶ第7回総会 (リモート)

2022.09.10 (土) スタッフ会議 (リモート)

●●● ご寄付ありがとうございます ●●●

岡田尚子様 須田昭子様 久水健史様

以上の皆さまにご寄付をいただきました。大切に使用させていただきます。

●●● 2023 こあじろの森くらぶオリジナルカレンダー 掲載画像選考会 ●●●

初めての試みとして、会員の皆さまに画像の提供をお願いしました、2023年用こあじろの森くらぶオリジナルカレンダーの画像選考会を行います。リモートで行いますので、お気軽にご参加ください。なお、応募の締め切りは10月10日とさせていただきます。

日 時 : 2022年10月16日(日) 13:00~15:00

ご参加方法: こあじろの森くらぶホームページの会員専用ページから「カレンダー画像選考会」のボタンをクリックしてご参加ください。

●●● 第32回交流会 「初秋 森の風は若返りの妙薬……かな?!」 ●●●

食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋。

小網代の秋は? 森は?……わくわくしますね。森を歩く日がもう待ちきれません。

月 日 : 2022年10月23日(日) 荒天中止

集 合 : 10時00分三崎口駅前 (14時ころエノキテラスで解散)

持ちもの: 昼食、水筒、図鑑や双眼鏡、ルーペなどがあると楽しいかもしれません

参加資格: こあじろの森くらぶ会員とご家族、ご友人

- ・引き続きコロナウイルスへの対策はしっかりとお願いします。
- ・スズメバチの活動も活発な季節です。黒い帽子・服装や匂いの強いシャンプーや香水などはお控えください。

小網代の森へのお出かけは、神奈川県ホームページを確認してから、が安心です。
神奈川県ホームページ URL <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/d2t/kankyo/p820028.html>

こあじろの森くらぶ通信 No.33

2022年9月25日発行

こあじろの森くらぶ Koajiro Woods Club

所在地: 〒238-0101 三浦市南下浦町上宮田1528-75

連絡先: info@mori-club.com (高橋)

046-889-0067 (仲澤)

URL : <http://www.mori-club.com>

年会費: 1000円 (7月~6月 入会金不要)

郵便振替 こあじろの森くらぶ 00290-6-137203